
だからなんだといってんだ!!

杉並 慶太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だからなんだといつてんだ！！

【Zコード】

Z1625Z

【作者名】

杉並 慶太

【あらすじ】

小説（杉並慶太）

朝、目が覚めた時、俺が目にしたのは…
「ダアアアアアアアー！！！！！」

だなとこーー！（前書き）

特になし

だなどい！！

朝、目が覚めた時、俺が目にしたのは…

時刻7時59分をさして、小

「8時30分まであと30分だと!!（屋内まで時刻が時59分をさしていた自覚なし時計たった

俺は20分で支度をし、（明日の準備すらしないのが俺！）朝飯を

スルーして学校に向かつた

「やべえー！間に合わねえーだろこれーチキシヨーー（泣）」「つなつたら最終手段だーー！」

俺は最終手段で誰かさん（マジで誰の？！）の畠を突っ切った
さ・ら・に

一般生徒は通つてはいけない門を通貨した

り暗号解読に成功していたので余裕で通行できるのだ！

「ウオオオオオオオオ！－！－間に合つた－！」

最絶手段のおかけでギリギリセーブ! (家から1分歩いて一歩もしたwww) つい叫んでじまつたぜ(̄ ̄)

この喜びを誰かに伝えたくてサイトツペ（チャームポイントはぐるぐる頭とポツチャリおなか）という人にこの出来事を話した

が

（無視かよオオオオ！！！）なんてひど

俺は一時間目が始まるまで泣くの出会った…

四時間経過

「ウオオオオオオ（泣）」俺はさらに泣いていた

「今日『テストかよーーー！
全然わかんねえーーー！
社会とかほほ白紙ーーー！』
階段で愚痴の連呼を繰り返す俺！」

そこに一人の男子生徒が
『オケ行こうぜーーー！』
といつて来た

（オケ）カラオケ
俺は一様『オツケー』といつたが
実際余り気は進まなかつた
あれから30経過

俺は全てを忘れて歌を熱唱していた
さらに1時間経過

「いやー、歌つたねーーー」「これからどこに行く？..」（男子生徒）
「どつかーーー（笑）
「ん、じゃあほつつき歩いづかーーー」
「ええよーーー」

といつことで、

今、第4公園にいる俺達 は途中で捕まえた同じ学校で同学年の一
富とい男子生徒に菓子をかつてきてもらつていい最中だつた
「買ってきましたよーーー」
「富が戻ってきた

「何買つてきたん
「じゃがりこ12個」

「…」

（オイイイイイイイイ…） 「お前はバカなのか？それとも…」
と言いかけたが俺は最後まで言わなかつた
何せコイツはバカを通り越した
どうしようもない奴なのだ

すると一宮が何か察したよつて言つた

「俺は天才だ！」

（言つて切つたー！…最後に『…』ついたよー！自称だよ） 「えー

と…話変えるがこれどうする？」「えー

さつきまでじゃがりこ12個を見つめて
顔文字で表すと

（？「？」）

みたいな顔をしてた

男子生徒こと松澤が聞いて来た

それに俺は疲れた顔で

「食つか…」

と言つた

それからのことは

一宮が1秒間に3つペースでじゃがりこを食つてた事しか覚えていないが

ただ一ついえるのは

「疲れたな…」

だなとこーー！（後書き）

時と場合によっては「いい話は終わります
長くなるか短くなるかは皆さんじだいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1625z/>

だからなんだといってんだ!!

2011年12月5日21時57分発行